

その  
ところはっ  
教えてください  
そのワケを  
#8



12月7日に深谷住宅のト  
レーラーハウスで開いた  
「モチヨルバル」&「ブ  
ルーボックスギャラリー」

試験的に制作  
販売したポス  
トカード



地域おこし協力隊 松本奈々さん  
深谷

飯館村地域おこし協力隊の松本奈々さん。村に移住し、移住相談室の業務に協力しながら、発信や交流の活動を行っています。奈々さんは、村の人と村外の人、あるいは移住者同士がワイワイと交流できる「モチヨルバル」を、ちよくちよく開催。インスタグラムや動画で、村の魅力の発信も行っています。この秋は、福島放送主催「ふるさとCM大賞」に出品する村のCMの企画・制作にも携わりました（結果は次のページで！）。次々にアイデアを実行し、村の

人をワクワクさせてくれる奈々さん。村のよさや「までいライフ」の魅力を、多言語で、海外にも発信したいと考えています（すでに英語での発信は進んでいます）。「関心を持った人が、さらに自分で調べたり、実際に足を運んだりすることに繋がれば」。奈々さんのアンテナがとらえた村の魅力を、皆さんもぜひぜひのぞいてみてください。動画は村HPの「移住・定住ポータルサイト」にリンクがあります。Instagramは左下のQRコードから。

話題の  
パレット

身近な話題を  
お寄せください  
☎0244-42-1613

「大倉秋祭り」で集会所に集まった皆さん。「これから皆でガニマキつくるぞ〜！」の笑顔です。



11月17日、大倉行政区が開いた秋祭り。グラウンド・ゴルフを楽しみ、郷土料理「ガニマキ」を皆でつくって味わいました。完成したガニマキは、旨味がギュギュッとつまった懐かしい味！大好評でした。



新潟産のモズガニを取り寄せました。ミソを取り出し、カラと身をすりつぶし、手間も楽しんでガニマキづくり♡

村民の不安や思いを伝えたいと、団体の活動終了後も発行を続けてきました。心に響くテーマが見つければまた発行したいです。



国立国会図書館は、国内外の資料・情報を広く収集・保存していて村の広報物なども収集されています。

国立国会図書館には、かわら版「負けねど飯館!!」倉庫1号から収集されるそうです

渡邊富士男さん(飯樋町)発行の「ふるさと飯館!!新かわら版」が国立国会図書館に收藏されます。震災後に活動していた「負けねど飯館!!」の会報を引き継ぎ、個人で編集・発行活動を行ってきました。

夕方6時からなので仕事帰りの人も参加してにぎやかに。楽しいおしゃべりも元気の素！



会では「までいな心の復興事業」を活用して、村に戻った人が元気で暮らせるよう、さまざまな活動をしています。食の安全への取り組みや、多彩な交流事業、視察研修なども行っています。

ピラティスの講習は官谷理恵さん(福島市)を講師に「いいたてスポーツ公園」で月2回続けてきました。



「ふるさと飯館で自分らしく生きよう会」(菅野クニ会長/宮内)が活動の一環で行ってきた「ピラティス」の講習会。12月で最終回を迎えましたが、活動を通して温かな交流が育まれました。

宝くじの助成金を活用して  
備品を購入しました！

● 深谷集会所 ●

村では、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじの助成金を活用して、地域活動の活性化に必要な備品を整備しています。今年度は、深谷行政区が助成を受けて、左記の備品を購入いたしました。購入した備品は、今後、行政区の活動やイベント等で活用され、村民同士の交流に生かされます。



- 宝くじ助成金で整備した備品
- 折りたたみ椅子 60脚
- 折りたたみテーブル 20台
- 冷蔵庫 1台 など

